

利用者のニーズに応える新しいコンビニ

C1240546 加藤和

私が考える利用者のニーズに応える新しいコンビニは、最近のコンビニでは、何でも売っている場所が多いイメージがあると思う。例えば、飲み物や食べ物、薬、化粧品、入浴剤が売ってある。そんな中でも、コンビニは値段が高いものが多い傾向にある。都市、地方に限らずどこにでもある便利なコンビニ。その一区画で、高齢者がスマートフォンやキャッシュレス決済などの新しいテクノロジーについて教える小規模な、「場」を作ってみるのがいいと思う。学びの場を設けることにより、高齢者は新しい刺激を得られるし、新たな発見につながるかもしれない。コンビニにとっては学びの場が集客につながるだけでなく、キャッシュレス決済等の知識を生かすことができれば、コンビニだけでなく、スーパーなどでも利用しやすくなるメリットも大きい。

さらに、コンビニにある野菜を使ってる惣菜やサラダを、地産地消として、地場産品を使った、商品を販売すればいいと思う。そうすることにより、遠い県から輸送するときに発生する二酸化炭素の削減や地域経済の活性化につながるのではないか。それに伴って、農業の盛んな地域から仕入れることによるその地域の農家の収入につながると考える。

現在のコンビニでの会計はセルフになってる場所が多くなっている。ですが、デメリットとして、レジの数が2, 3つしかないため人がいっぱい混んでる時にどうしてもレジが、詰まってしまうことが起きると思います。なのでレジの増加が必要と考えました。そのためにもお店の大きさを変えたり、商品数を増やすことで、売り上げも上がり益々、利用者もこれまで以上に増えていくと考える。

この内容をまとめると、お店のことだけでなく、お店として成り立つことができるのは利用者が多くいることで成り立つことができる。さらに、コンビニは全国に5.7万店舗あり、全国に値するのでそんな中での、地域での地産地消をすることで、輸送する際の長時間移動による、二酸化炭素の排出を防ぐことができる。地産地消により、農家の人々のやりがいや、金銭的にも安くなり、買うことに抵抗も少なくなると思う。

これらのことをまとめると、高齢者に対してのキャッシュレス決済などを教えることで還元サービスでのお得なサービスや、お店の拡大により利用者の増加、レジの増加により、なるべくスムーズな環境を作ることができると思う。